

浜口投手の恩師・古川監督

大逆転での日本一まであと2勝と迫る横浜DeNAベイスターズは4日、敵地・福岡で日本シリーズ第6戦に臨む。負ければ終わりの第4戦で八回1死まで無安打無得点に抑える快投を演じ、シリーズの流れを大きく変えたのが神奈川大出身のルーキー浜口遥大投手(22)だ。無名の高校時代を経て、その才能を大きく開花させた大学時代の恩師・古川祐一監督(49)は「まだ投げる機会があるはず。日本一に導いてほしい」と背中を押す。

(佐藤将人、矢部真太)＝本記1面、関連記事7面に

つか
掴め!日本一
熱きエール

教え子 成長に誇り



⑤日本シリーズ初白星を飾り、ポーズをとる横浜DeNAのルーキー浜口投手＝1日、横浜スタジアム ⑥浜口投手(中央)は神奈川大時代に2度、全日本大学選手権に出場し、準優勝とベスト4まで勝ち進んだ。左は古川監督＝2015年6月、神宮球場

1日に行われた第4戦。慣れ親しんだ横浜スタジアムのマウンドで躍動する教え子の姿を、古川監督はテレビで観戦した。ソフトバンクの強力打線に対し七回を終えてもまだ無安打、二つくりだよ。よく投げた。ただ、八回1死から安打を許して降板した浜口投手には試合後、LINE(ライン)であえて厳しい言葉を送ったという。

「主力打者に打たれるなら仕方ないけど、あそこで(代打の)鶴岡に打たれちゃだめだよ。ピンチのときの勝負強さはあるんだから、気を抜かずには頑張れ。若き左腕の性格を知り抜いているからこそ言葉に、浜口投手は『監督らしいですね』と笑う。

⑦ 佐賀・三養基高時代は全くの無名選手。だが、思い切り腕を振る強さを見抜いた指揮官は、大学一年の秋からマウンドを託した。結局、神奈川大学野球リ

グ通算20勝。全日本大学選手権では、母校を準優勝にまで導いた。そして今、大学で逃した日本一をつかむチャンスを得ている。プロでも打者をきりきり舞いさせる変化球・チェンジアップを磨いたのも古川監督の助言によるものだ。今があるのは古川監督との4年間のおかげ」と、浜口投手も感謝が尽きない。

⑧ 日本一まで残り2勝。もう先発はなくても、リリーフ登板の可能性は十分ある。浜口投手は3度神奈川

リーグを制した大学時代を念頭に「任せればもちろんいける。古川監督への恩返しでもできるような、必死にやりたい」と準備は万全だ。古川監督は、1年前には考えられなかった舞台上に立つ教え子が誇らしい。本心に精神的にも大きく成長した。また投げる機会はあるだろうし、しっかりと抑えて日本一に導いてほしい。やれるはずだと信じている。